

朝日新聞デジタル > 記事

赤ちゃんの人形、思い託して 我が子の代わり・新たな人生の希望 リアルな作り、認知症ケアにも

会員記事

2020年6月30日 16時30分

シェア ツイート ブックマーク スクラップ メール 印刷
list 0



リポードールを抱く臼井聡子さん



本物と見まがうほど精巧な作りの人形「リポードール」を愛する人たちがいる。子どもを亡くした夫婦が我が子の代わりに迎えたり、お年寄りのケアに使われたり。作り手も持ち主も、思いを託す存在だ。

ブランケットにくるまれ、目を閉じた人形は、息をのむほど精巧だった。風に揺れる髪は本物のようで、白い肌には静脈を思わせる薄青い筋がうっすら走る。寝息が聞こえてきそう。

6月中旬、販売サイト「リポードールベビー」を運営する臼井聡子さんが、人形を見せてくれた。「リアルすぎて、怖いと感じる人も少なくないんです」。臼井さんはそう笑う。近くを通りかかった女性も、驚いて足を止めた。

ロシア作家の手作りで身長50センチ、体重は新生児並みの2・5キロ。顔や手足は塩化ビニール製、胴体は布製で、抱き心地は新生児のよう。数千本の髪の毛は、柔らかなモヘア（ヤギの毛）を、一本一本手作業で植えている。1体22万5千円の高級品だ。

臼井さんによると、リポードールは1990年代に欧米で生まれたとされる。子どもを亡くした親が、我が子の代わりに作ったのが始まりだったようだ。日本でも10年ほど前から知られるようになり、個人が手作りしたり、作家が生まれたり、ここ数年で徐々に広がっている。日本人の作家はまだ数えるほどで、多くが欧米人だ。

購入者はどんな事情から人形を迎えるのか。

横浜市の40代の女性は50代の夫とふたり暮らし。今年2月、2体を計約10万円で購入した。

30代のころ、病気で子どもができない体に。「いつか母になりたい」という夢を諦めていたところ、ネットでリポードールを見かけた。我が子の代わりにかわいがりたいと相談すると、夫も乗り気になった。「しわが入った足の裏や細いまつげも赤ちゃんそのもの。リアルだからこそ感情移入できる。リポードールとは生まれ変わりの意味ですが、私も新たな人生を生きる気持ちになれた気がする」

奈良市の女性（71）は10体以上に約200万円を費やすコレクターだ。子ども2人がいずれも男で、女の子が欲しかった思いを人形に託す。「ぶくぶくした赤ちゃんらしさがかわいい」

作家も、人形に思いを込める。

注目の連載記事

もっと見る

横田滋さんの43年
「親として普通のことをやった」 滋さんの強さの源流は



コロナの時代
在宅勤務、あっという間に大変化 気づけぬサービス残業



PR 注目情報

リモート授賞式に子ども達が集合！
JINS主催キッズメガネスタアワード

地域の金融機関が、未来の為にできる事
誰一人取り残される事のない社会の為に

女優・本上まなみが語る
これからの「子どもとの向き合い方」

いま40代の男性が向き合うべき課題とは
貴禄？いえ、老けただけです！

テレワーク導入をスムーズに進める方法
中小企業こそテレワーク導入を勧めたい

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

- 10年前の悲劇が教訓に 巨人コーチ、AEDで人命救助
- シルク・ドゥ・ソレイユが破産申請 コロナで全公演停止
- 感染拡大せず「日本スゴイ」…80年前と重なる嫌な流れ

20歳で亡くなった娘の幼い頃に似せてほしい、高齢出産した我が子に妹をつくってあげたい。オーストラリア在住の日本人作家ココさんは、そんな顧客の願いに耳を傾け、数カ月から半年をかけて完成させる。自身も不妊に悩んだココさんは「人形を作り、喜んでもらうことが、私の癒やしにもなる」と言う。

リポンドールなどの人形は、認知症の高齢者のケアにも使われている。

敦賀市立看護大の畑野相子教授は、これまで約30人の高齢者に人形を使ったケアを実施。あやしたり服を着替えさせたりを日常的に繰り返すうちに、表情が穏やかになり、暴力的行動もなくなるといった効果があった。畑野教授は「世話をされる立場からする立場になり、役に立っているという実感が心の癒やしになるため」と推しはかる。

早稲田大などで非常勤講師を務める人形文化研究者の菊地浩平さんは「人形は、人が他者や自身の思いと向き合うためのメディアだ」と話す。「亡くなった人を感じたり、子育てが十分できなかった後悔に気づいたり、言語化しにくい自分の本心を知る手がかりになっているのでは」と分析する。(林幹益)

その他の社会面掲載記事

赤ちゃんの人形、思い託して 我が子の代わり・新たな人生の希望 リアルな作り、認知症ケアにも

案里議員、貸付金3000万円 借入金は2800万円 資産の補充報告

福岡・中洲の感染、調査難航 9人中8人、キャバクラ店名明かさず 新型コロナ

横浜の環状2号線、また陥没 トンネル工事との関連調査

静岡で住宅全焼、2人の遺体発見 住人の夫婦か

(マダニヤイ とことこ散歩旅：356) 鮮魚街道：13 海自下総航空基地

こんなニュースも

【詳報】渡辺三冠が勝利 終盤、激しく揺れた形勢の針 (朝日新聞デジタル 社会面)

「太陽の様な方でした」「言葉失う」…各界から悼む声 (朝日新聞デジタル おくやみ面)

藤井七段はオンラインアドバイザー？「仮想空間」の一手 (朝日新聞デジタル)

ファンを徹底的に楽しませたこだわりの数々 ホンダS2000 (&M)

私にあう素材は何だろう。『白いシャツは、白髪になるまで待つて』 (&w)

AI時代、豊かな感性こそが武器になる世界で恥をかかないために！ビジネスマナー&イメージ戦略 第6回 (エアスタイルマガジン)

OGATA Paris ー パリの空間に映る 日本の食とデザインの粋 (T JAPAN)

Recommended by

こんな特集も

世界で恥をかく日本ルールの着こなし (エアスタイルマガジン)

PR情報

トップニュース

朝日新聞デジタルのトップページへ

BCG接種？ 交差免疫？ 日本のコロナ死者なぜ少ない

宿泊を無断キャンセル、8施設がキャバクラ経営者ら提訴

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

- シルク・ドゥ・ソレイユ破産 4111 |
- 自民の広島県連幹部の憤り 1421 |
- 東京都で新たに58人感染 817 |

Facebook

Twitter

記者ページ

注目コンテンツ

ご案内

【&Education】

次世代を担う子どもたちへ

「デザインの思考」の大切さ



【&TRAVEL】

台北の廃虚にたたくむ後ろ姿

永瀬正敏フォトワークス・記憶



【&TRAVEL】

山陰の漁村にある無人駅

海の見える駅 徒歩0分の絶景



【&M】

影響を受けたラブソングは？

次世代ポップスの新星が選曲



【&w】

棺桶に入れる本は決めてます

個性派カフェ店主のオススメ本



好書好日

野菜たちがマラソンに挑戦

石津ちひろさんの人気絵本



論座

日本のスパコンが4冠

今日の編集長おすすめ記事



エアスタイルマガジン

かつての名店の味を手軽に！

意外性溢れるカレーを手土産に



T JAPAN

ウィズコロナ時代に読む本

坂本龍一さんが選ぶ1冊



GLOBE+

梅雨時だからこそ絶景

アジサイ楽しむ全国のスポット



sippo

オンラインヨガに愛猫乱入

猫に邪魔されたい夢は叶ったが



ニッポンにはグランドセイコーがある。

高校生必見！相手に伝わる文章のコツを解説

年金・相続リスクに…土地活用資料プレゼント